

「できない」ことを学ぶ

－比井小 高齢者・車イス体験－

12月4日(金)、比井小学校(玉置雅己校長)でNPO法人「WACわかやま」(中村富子代表)、日高町社会福祉協議会(寺井陽子会長)の協力のもと、5・6年生児童合わせて16人が高齢者の感覚や車イスを体験しました。

関節を曲がりにくくするサポーターや重り、白内障を体験する曇ったメガネなどがセットになった高齢者擬似体験グッズ「つくし君」を身につけた児童らは、高齢者の体を擬似体験。3人1組になり、小さな文字を読んだり階段の上り下りをしたりして、高齢者の大変さを学びました。

また車イス体験でも、二人ペアになり実際に車イスに乗って体育館に作ったコースを走行。坂道の上り下りがとても大変なことや、少しの段差でも通れなくなってしまうことなどを、実感を通して学びました。

体験に参加した5年生の崎野愛美さんは「耳が聞こえにくかったし、目も見えにくかったです。お年寄りの方には、おおきな声で話をしたりして優しくしてあげたいです」と話していました。



ネットの便利さと危険性

－志賀小 SNS親子研修－

12月18日(金)、志賀小学校(保田勉校長)において、NPO情報セキュリティ研究所(臼井義美代表)の協力のもと、SNS親子研修「身近なネットから身を守ろう！」が開催され、4年生～6年生の児童ら84人と保護者、教職員らが、インターネットやSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の危険性について学びました。

講師の西庄恵介氏は、子供らに身近なゲームなどのコンテンツを例に挙げ、「昔は有線で繋いで友達と遊んでいたゲームも、今ではネットを使って簡単に接続できる」と、便利な一面を紹介しつつ、「最初は無料のゲームでも、有料ガチャや有料の追加要素など、お金の掛かるものがある」「うっかり個人情報をネットに公開して、自宅などが特定されたりすることもある」など、危険性も紹介。また、SNSでのトラブルも多く発生していることから、正しい知識を身につけて、相手のことを思いやり、責任を持って使用するよう、促しました。





人KENあゆみちゃん(左)、人KENまもる君(右)と一緒に記念撮影

人権を大切に

－比井小 人権教室－

12月14日(月)、人権擁護委員さんら8人の協力のもと、比井小学校で人権教室が開かれ、2・3年生児童ら14人が人権について学びました。

児童らは、ビデオを観て「いじめた子」と「いじめられた子」の気持ちに思いを巡らし、手を挙げて感じたことを発表していました。

初めての餅つきに挑戦

－内原小 餅つき－

12月9日(水)、内原小学校(山口謙校長)において、地域の方や保護者らの協力のもと、餅つきが実施され、5年生児童43人が挑戦しました。

餅つきでは、昔ながらの杵と臼を使用。児童らは順番に杵を持ち、慣れない手つきで振り下ろしていました。また並行して餅つき機も使用し、それぞれで出来上がったお餅を、児童らが手で丸めて並べていきました。

この日使用したもち米は30kgで、酒井精氏(高家)の水田を借り、児童らが田植えと稲刈りをして収穫したものです。

参加した太田郁弥くんは「餅つきをしたのは初めてだったけど、気持ち良くて楽しかったです。お餅は持って帰って、家族のみんなにも食べてもらいたいです」と話していました。



アフター5、荊木Gが優勝 －町体協 秋期バレーボールリーグ戦－

町体育協会バレーボール部会主催の第34回秋期バレーボール・リーグ戦大会がこのほど終了し、男子の部はアフターファイブが、女子の部は荊木ガッツがそれぞれ優勝しました。

■上位成績	【男子の部】	【女子の部】
	優勝 アフターファイブ	荊木ガッツ
	準優勝 池田ファミリーズ	めだか一す

●アフターファイブ：生戸良一主将
「メンバーも若返り、14年ぶりに優勝
することができて嬉しいです」



●荊木ガッツ：清水恵美さん
「みんな仲良く一丸となって頑張りま
した。みんな笑顔で終わることが出来
て良かったです」



男子女子優勝チームからひとこと